

- ・電源車によりどの程度電力が賄えるのか、仕様等情報が欲しい。
- ・長期停電時に備えて、自家発電機の準備が必要と感じた。
- ・沖縄電力への相談は音声ガイダンスとなり相談できなかつたため、電力会社と病院との間で円滑に連絡できるようにしてほしい。
- ・入院患者を受け入れている病院は電気、インターネット等ライフライン復旧を優先してもらいたい。
- ・人工呼吸器バッテリーは7時間しか持たない為、長引く場合の対応について医師会においても検討して頂きたい。
- ・県立病院（公立系）はテレビのテロップに休診案内がされているが、当院でもそういった方法で周知が図れないか確認することは可能か。
- ・停電施設へライフライン分の発電機レンタル等の支援があれば助かります。

○宮古地区医師会

- ・送電線の地中化推進。
- ・暴風に伴う運送停止による薬剤不足解消。

○八重山地区医師会

- ・建物の被害は無かったが、医療ガスの酸素の補充がきびしい。今後としては備蓄倉庫の拡大等を検討したい。

○国療沖縄公務員医師会

- ・停電時バックアップとして発電機貸し出しが可能だと心強い。
- ・自家発電機用燃料（重油）の優先先配給（屋我地地区は平時でも停電発生が多く、県北であるためか復旧作業も遅い状況。今回は8/1夕方に停電後、8/4 AMに燃料補給できた状況）。飲料水/入所者食糧の優先的供給（備蓄日数：7日を超えた場合）。

以上のように、今回の台風による被害状況は、県全域にわたって分布しました。

特に停電による空調設備の故障や通信障害、暴風雨による雨漏りや建物内外部の損壊等が多数報告されました。会員の先生方におかれましては、今回の台風で得られた教訓を元に、自然災害等で発生する様々な事象への対応について平時からの備えを考える機会になったのではないのでしょうか。本会と致しましても寄せられて内容を参考に、今後も各地区医師会と連携を図りながら様々な対策を考えて参りと思っておりますので、引き続き、ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

暴力団追放に関する相談窓口

暴力団に関するすべての相談については、警察ではもちろんのこと、当県民会議でも応じており、専門的知識や経験を豊富に有する暴力追放相談委員が対応方針についてアドバイスしています。

暴力団の事でお困りの方は一人で悩まず警察や当県民会議にご相談下さい。

●暴力団に関する困り事・相談は下記のところへ

受付 月曜日～金曜日（ただし、祝祭日は除きます） 午前10時00分～午後5時00分

TEL (098) 868-0893 なくそうヤクザ 862-0007 スリーオーセブン FAX (098) 869-8930 (24時間対応可)

電話による相談で不十分な場合は、面接によるアドバイスをを行います。

「暴力団から不当な要求を受けてお困りの方は……悩まずに今すぐご相談を（相談無料・秘密厳守!）」

財団法人 暴力団追放沖縄県民会議